

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 2 月 2 5 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 1 番 高取 誠隆

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号1) 発 言 事 項	ふるさと納税の寄附減少要因と目標達成に向けた戦略的運用について
要 旨	(項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)
	<p>前回の一般質問において、本市のふるさと納税の運用状況および今後の戦略について質問したところではありますが、その後も寄附額が減少傾向にある現状を踏まえ、戦略の実効性、推進体制及び運用の在り方について、次の段階として、検証の観点から問うものであります。</p> <p>本市のふるさと納税は貴重な自主財源である一方、寄附額は近年減少傾向にあり、令和7年度は5億円程度の見込みとされております。また、令和8年度の寄附目標額は6億5,000万円とされているところではありますが、これまで年間1,000万円程度の減少で推移していた寄附額が、直近では1億円規模の減少見込みとなっている状況は、戦略の実効性という観点からも看過できない課題</p>

であると考えます。

前回の答弁では、経費率が制度上限の50%に近い状況であること、新規事業者の参入促進については広く周知しておらず問い合わせベースで対応していること、現地決済型ふるさと納税の導入を進める方針等が示されましたが、寄附減少の現状を踏まえると、制度要因のみならず、推進体制、事業者参入の在り方、委託業務の運用等を含めた総合的な検証が必要な段階にあると考えます。

以上を踏まえ、以下質問いたします。

1. 寄附目標額の達成戦略および減少要因分析について

(1) これまで年間1,000万円程度の減少であった寄附額が、直近では1億円規模の減少見込みとなっている状況について、減少要因の詳細な分析をどのように行っているのか伺います。

(2) 令和8年度の寄附目標額6億5,000万円の設定根拠および具体的な達成戦略について伺います。

(3) 今後、寄附額が目標に達しない、又は減少傾向が継続した場合の財政運営および寄附充当事業への影響の見込みについて、市の認識を伺います。

2. 現地決済型ふるさと納税の導入時期および展開について

(1) 前回の答弁において、宿泊施設等における現地決済型ふるさと納税を導入予定とのことであったが、具体的な導入時期および現在の進捗状況について伺います。

(2) 今後の対象施設の拡大方針および寄附額への効果見込みについて、市の認識を伺います。

3. 新規事業者の参入促進および推進体制について

(1) 新規事業者の参入促進について、広く周知していないとの答弁であったが、なぜ広く募集を行っていないのか伺います。

(2) 専任担当職員の配置や推進体制の強化の必要性について、市の見解を伺います。

4. 経費率 50%の内訳および運用改善の余地について

(1) 本市のふるさと納税に係る経費率が制度上限の 50%に近いとのことであるが、返礼品調達費、送料、ポータルサイト手数料、中間事業者委託費、事務費等の内訳について伺います。

(2) 経費構造の見直しや運用改善による寄附増加の余地について、どのように検証しているのか伺います。

5. 中間事業者への委託業務の役割および評価について

(1) 前回の一般質問において、中間事業者と連携し返礼品開発等を行っている旨の答弁があったことを踏まえ、改めて確認するものでありますが、返礼品開発、ページ作成、事業者調整等を担う中間事業者と市の役割分担および責任の範囲についてどのように整理しているのか伺います。

(2) 寄附額が減少傾向にある現状を踏まえ、中間事業者への委

託業務の成果についてどのように評価しているのか伺います。